



第16回もうひとつの戦争展が開催さる

□去る8月4日～6日の3日間、名古屋国際センターにて第16回もうひとつの戦争展が開催された。同展示会は平成13年より始まったが、左翼団体による「平和のための戦争展」に対抗することを目的にしたものである。今や名古屋の恒例イベントとして定着している。本年は「共産主義の歴史ーロシア革命から100年」をテーマに展示発表があった。



河村廣康氏(シベリア抑留者愛知友の会会長)によるミニ講演会



筆坂秀世氏に展示説明をする企画委員の皆さん

もうひとつの戦争展 パネル縮刷冊子を 頒布します

□本冊子は2つのパートに分かれており、第1部は世界中で繰り広げられた共産主義勢力による殺戮の実態と、日本共産党の革命戦略などを取り上げてあり、第2部では戦前、戦後における日本共産党の組織文書などが掲載してある。



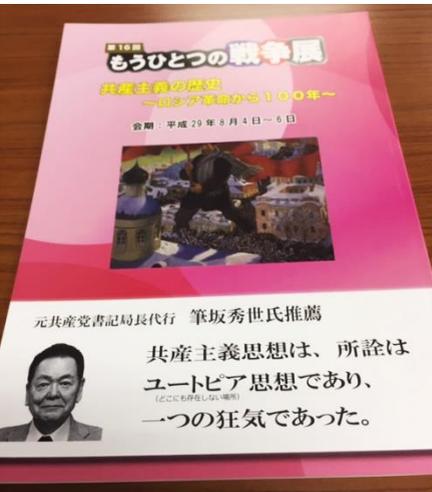
大盛況となった筆坂秀世氏講演会



終戦の日、愛知県護国神社に集う



□去る8月15日、愛知県護国神社にて参拝者への冷茶サービスと憲法改正署名の呼びかけを行った。雨模様の天候ではあったが、正午の黙祷時には拝殿前で300名程の方々が深い祈りを捧げられた。終了後、会員の皆さんと記念撮影をして解散となった。



1冊500円(送料込み)

ご希望の方は、

日本会議愛知県本部まで
TEL・FAX・mailにて
お申込み下さい。

今年一月下旬京都に陵墓参拝に出かけました。二週間前京都に行つたときには関が原から米原にかけて雪がまったく見ることができなかったのですが、今日は米原付近が大雪ということで関が原から米原そして彦根を過ぎて窓の外は一面銀世界でした。そのため新幹線は速度を落としての走行でしたので京都駅には予定より二十二分遅れての到着となりました。



今日の参拝エリアは嵐山近辺です。JR嵯峨野山陰線の快速に乗り込めば雪が舞っています。でも傘をさすほどの降りではありません。嵯峨嵐山駅から南へ歩き嵐電嵯峨駅を過ぎたところの左手に、長慶天皇の嵯峨東陵と長慶天皇の皇子、承朝王のお墓が並んであります。二礼二拍手一礼。長慶天皇は南朝の第三代で、後醍醐天皇の皇孫です。大正十五年に皇統加列の詔書が発布され、正式に第九十八代天皇として列せられたそうです。

次は南東方面に四百メートルほど歩き桂川のほとりにあるのが順徳天皇の皇曾孫、志玄王のお墓です。合掌。

志玄王も承朝王も共に臨濟宗の仏門にお入りになりました。お二方とも、ここ嵐山にある天龍寺や東山の南禅寺などに住したそうです。



今度は二百メートルほど北西にある車折神社を参拝しました。二礼二拍手一礼。ウイキによると、ある人が牛車に乗ったまま社前を通った所、突然車が裂けてしまったためにも、後嵯峨天皇の大堰川遊幸の際、社前で突然車が前に進まなくなったので、不思議に思って社の者に問うた所、御祭神を祀ると答えがあったので、還御の後に「車折大明神」の神号と正一位の神階を贈ったためともいう。だそうです。



嵐山駅のすぐ南にある臨川寺の中にある後醍醐天皇の皇子、世良親王のお墓です。ただ臨川寺は現在拝観できません。十年以上前に住職が亡くなってから拝観停止となっているそうです。裏手に回って塀越しにお墓を臨むことができました。合掌。



世良親王は聡明であられ後醍醐天皇の期待も厚かったのですが早世されました。そして世良親王が臨川寺を開山するはずだったところその前にお亡くなりになったので、後醍醐天皇が開山したとのこと。臨川寺の硬く閉ざされた門は桂川に面しています。そこから渡月橋に向かい橋を渡らず更に上流へ向かい亀山公園に行きました。(次号へ続く)

事務局日誌(八月) 服部守孝

一日(火)美しい日本の憲法をつくる国民の会全国キャラバン隊を名古屋に迎える。愛知県護国神社正式参拝、名古屋市会議長ならびに愛知県議会議長を表敬訪問。その後、名古屋駅頭にて街頭キャンペーンを行い、キャラバン隊報告会を開催した。

愛知県護国神社清掃奉仕予定

- 10月1日(日)午前8時開始。※清掃奉仕終了後、9時より「月次祭」に参列いただけます。
■引き続き11月3日(日)午前8時開始とします。
■軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社殿の木柵拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下さい。9月3日は11名の参加でした。ありがとうございました。



(9月3日 奉仕後に撮影)

●「日本の息吹」を引き続きご購入くださいますようお願いいたします。

四日(金)第十六回もうひとつの戦争展初日。午前中に設営作業を終え、午後から開場した。多くの来場者を期待したい。今日は、シベリア抑留者愛知友の会の河村廣康氏による体験談を聞く会があった。シベリアでの劣悪な環境の中、過酷な労働を強いられながら生きて祖国の土を踏んだ感激などを切々と語られた。最後に全員で「異国の丘」を合唱したが、込み上げるものがあつた。夕刻より、筆坂秀世氏を囲む会に参加。六日(日)第九十五回愛知県護国神社清掃奉仕会に参加して、戦争展会場へ。今日は最終日で、午後より筆坂秀世氏講演会が開催された。会場はほぼ満席となり、人気の高さを実感。日本共産党の元幹部であつた筆坂氏ならではの濃密な内容のお話が聞けた。

十四日(月)午後から愛知県護国神社に特設テントを設営。暑い中を、六名の方にお手伝いいただき一時間で終了した。十五日(火)終戦の日。私どもは例年通り、愛知県護国神社にて参拝者に冷茶サービスと憲法改正署名を呼びかけた。短時間のうちに百三十筆もの署名が集まった。十六日(水)夕刻より愛知県護国神社の献灯祭に参列。神事終了後、境内一面に置かれた雪洞へ一斉に火が入られる。夜の帳が下りるにつれてその灯りが浮かび上がり幽玄な空間が生まれてくる。拝殿前では、青年僧による読経、青年神職による御神楽と続き、かっぱれ踊りや熱田神楽が奉納された。最後に元陸上自衛隊音楽隊の池田泰英氏による軍隊ラップで終演となる。このラップ奉納は昨年より始まったが、静寂の境内に鳴り響く音色は心に染み渡る。実は演奏中に、突如涼しい風がさあーと吹き込んで来るという不思議な体験をした。英霊がご嘉納されたのだと思えてならなかった。二十六日(土)日本の誇りセミナーに参加。佐瀬竜哉氏(日本会議事務総局)による「天皇陛下のおほみこころー御製、御歌を拝す」と題した講演をお聞きした。